

NEWS RELEASE www.jogmec.go.jp



独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

問合せ先:資源探査部 探査第2課 宮武・増田 TEL:03-6758-8374

広報担当:総務部 広報課 西川 TEL:03-6758-8106

南アフリカ共和国での探鉱プロジェクトで新たな白金族の存在を確認

～これまでで最も厚い 80m 間、平均品位 4.80g/t

(プラチナ、パラジウム及び金の合計)に着鉱～

JOGMEC(本部:東京都港区、理事長:河野博文)は、南アフリカ共和国ブッシュフェルド地域北部で、カナダのプラチナム・グループ・メタルズ社と共同で実施しているウォーターバーグ白金族プロジェクトにおいて、80m 間(370m～450m)平均品位 4.80g/t(プラチナ、パラジウム及び金の合計)の新たな白金族の存在を確認しました。

対象地域は、南アフリカ共和国の白金族鉱山地帯であるブッシュフェルド地域の北端に位置しています。この地域には、それまで白金族鉱床が存在するブッシュフェルド岩体は潜在していないと考えられていたため、積極的な調査が行われていませんでしたが、JOGMECはこの地域の有望性を見出し、2009年度にこの探鉱プロジェクトに参入しました。2011年11月に JOGMECはこの地域でブッシュフェルド岩体の存在を初めて確認するとともに、同岩体中に白金族鉱床を発見しました。その後のボーリング調査(試錐)により、2012年9月に初めて予測鉱物資源量として合計約 205tの金属量を報告し、2013年4月に 315t、2013年9月に 545t、2014年6月に 693tと更新・拡大してまいりました。(※次ページ、過去に実施のニュースリリース参照)

資源量更新のために試錐を実施しているところ、新たに、80m 間(370m～450m)平均品位 4.80g/t(プラチナ、パラジウム及び金の合計)と、比較的浅所でこれまでで最も厚い白金族の鉱化帯に着鉱しました。この着鉱部分は既知鉱化帯の浅部延長部に相当しており、更にその延長を確認する試錐を計画しています。加えて、既知の鉱化帯中でのインフィル試錐においても、46.79m 間(771m～819.79m)平均品位 3.76g/t(プラチナ、パラジウム及び金の合計)等の鉱化を確認しました。試錐完了後に、改めて資源量を更新することを計画しており、現在実施中のプレ・フィージビリティ・スタディで評価を行います。

本プロジェクトは、2014年2月に南アフリカのエンジニアリング会社により予備的経済評価(PEA: Preliminary Economic Assessment)がまとめられ、採掘法、選鉱法、社会・環境対策、経済性などの初期的評価が明らかになりました。現在はプレ・フィージビリティ・スタディを作成中で2015年第2四半期の完成を見込んでいます。JOGMECは今後とも我が国企業が直接関与する金属鉱山開発の促進に貢献して

まいります。

(参考)

孔名	FROM (m)	TO (m)	幅 (m)	プラチナ (g/t)	パラジウム (g/t)	金 (g/t)	3E* (g/t)	銅 (%)	ニッケル (%)
WB123	370.00	450.00	80.00	1.41	3.18	0.21	4.80	0.10	0.23
WB161	771.00	817.79	46.79	1.06	2.51	0.19	3.76	0.10	0.19

*3E=プラチナ、パラジウム及び金の合計

尚、ロジウムについては分析中。

※過去に実施のニュースリリース

○JOGMEC、世界のプラチナ主生産国、南アフリカの有望地域における権益獲得に向けて2件目の共同探査事業立ち上げへ(2009年10月9日発表)

<http://www.jogmec.go.jp/news/release/release0216.html>

○JOGMEC、南アフリカ共和国ブッシュフェルド地域北部で白金族金属の存在を確認(2011年11月10日発表)

<http://www.jogmec.go.jp/news/release/release0373.html>

○南アフリカ共和国の白金族金属プロジェクトで金属量約205tを確認(2012年9月27日発表)

<http://www.jogmec.go.jp/news/release/release0433.html>

○マイニング・ジャーナル誌にて最優秀探鉱賞を受賞(2012年12月21日発表)

<http://www.jogmec.go.jp/news/release/release0460.html>

○JOGMEC、南アフリカ共和国の白金族金属プロジェクトで金属量約315tを確認(2013年4月16日発表)

http://www.jogmec.go.jp/news/release/news_10_000001.html

○JOGMECの南アフリカ共和国白金族プロジェクトでの金属量、約545tに拡大(2013年9月12日発表)

http://www.jogmec.go.jp/news/release/news_10_000040.html

○JOGMECの南アフリカ共和国白金族プロジェクトでの金属量、約693tに拡大(2014年6月25日発表)

http://www.jogmec.go.jp/news/release/news_10_000110.html

○2013年度 資源地質学会技術賞 受賞 ～南アフリカ共和国における白金族金属鉱床探査での調査成果に関連して～(2014年6月30日発表)

http://www.jogmec.go.jp/news/release/news_08_000039.html

■ プロジェクトの概要

1) ウォーターバーグ(Waterberg)地域

位置 : 首都プレトリアの北北東約270km

鉱区面積 : 153km²

概要 : 白金族金属を胚胎するブッシュフェルド岩体の北端に位置するが、地表は表土で覆われ、ブッシュフェルド岩体の露出がないことから、これまで積極的な調査が行われていなかった地域。

周辺の開発状況 :

・モガラクエナ鉱山(Mogalakwena) : ウォーターバーグ地域の南70kmに位置する。アングロ・アメリカン・プラチナム社(Anglo American Platinum Limited、本社南アフリカ)が露天鉱採掘で生産を行っており、金属量(埋蔵量及び資源量ベース)の合計は265.9百万オンス(約8,270t、プラチナ、パラジウム、ロジウム、金の合計)。

・プラットリーフプロジェクト: ウォーターバーグ地域の南82kmに位置する。JOGMEC出資案件。本格的探鉱実施中

2) 契約内容

契約締結日 : 2009年10月9日

条件 : 4年間で320万米ドルの調査費用を拠出することにより、37%の権益を獲得することができる。調査結果が良好な場合には優先的に日本企業に引継ぐ条件が設定されている。共同探鉱の契約上、新たに鉱床が発見された場合、優先的に日本企業に引継ぐ条件が設定されており、日本企業の新たな権益確保につながるものと期待される。

■ プラチナム・グループ・メタルズ社 (Platinum Group Metals Ltd.)

本社 : カナダ・ブリティッシュコロンビア州バンクーバー

設立 : 2000年

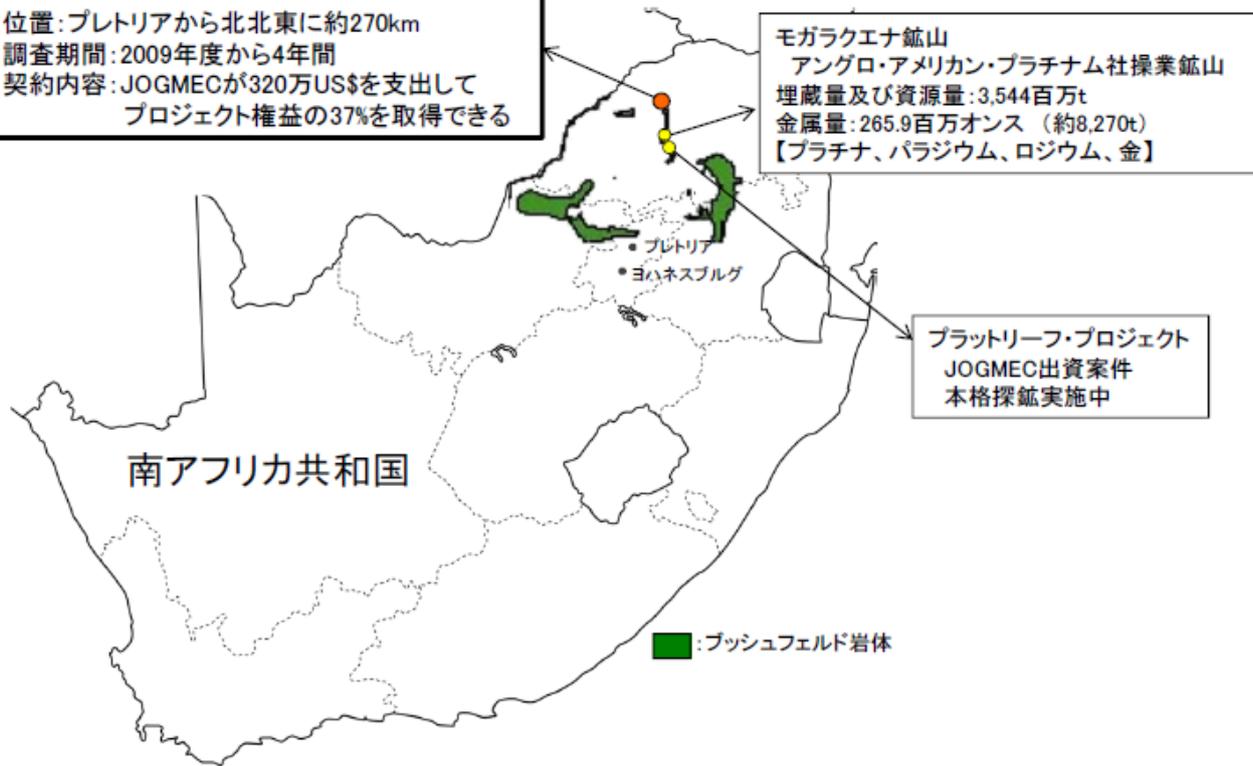
概要 : 白金族金属の鉱山開発を目的とし、カナダ及び南アフリカで探鉱を実施している中堅探鉱会社。南アフリカのヨハネスブルグに現地会社を有し、ブッシュフェルド地域西部WBJVプロジェクトは2015年央の生産に向け鉱山を建設中。本ウォーターバーグ地域プロジェクトのオペレータを務める。

ウォーターバーグ地域

位置: プレトリアから北北東に約270km
調査期間: 2009年度から4年間
契約内容: JOGMECが320万US\$を支出して
プロジェクト権益の37%を取得できる

モガラクエナ鉱山
アングロ・アメリカン・プラチナム社操業鉱山
埋蔵量及び資源量: 3,544百万t
金属量: 265.9百万オンス (約8,270t)
【プラチナ、パラジウム、ロジウム、金】

プラットリーフ・プロジェクト
JOGMEC出資案件
本格探鉱実施中



調査地域位置図